

## 志摩半島海産藍藻類調査概要

梅 崎 勇

(京都大學農學部水産學教室)

志摩半島は三重縣南部に位置し、伊勢志摩國立公園に指定された景勝の地であり、又英虞灣は眞珠養殖場として又半島全域は水産資源豊富で水産上重要なところである。海岸線は出入り多いリアス式海岸をなし、海藻フロラも豊富である。現在までこの半島は幾多の學者により採集調査され又それに関する多くの報告も發表されている。然し海産藍藻類に関しては未調査の儘残されており、筆者はそれを開拓調査すべく昨年(1952)3月、6月及び10月の3回に涉り、御座、越賀、和具及び和具沖大島を主とし、的矢灣も1回、採集調査を行つた。現在調査中ではあるが、ここにその結果の概要を豫報しようと思う。

### A フロラの調査 (同定されたもののみ)

#### 藍藻類

- クロオコックス科： 3 屬 5 種 2 變種 (2 種 1 變種)
- プレウロカプサ科： 5 屬 9 種 (4 種)
- デルモカルパ科： 2 屬 4 種 (3 種)
- イデュアイミドリ科： 2 屬 2 種
- ヒゲモ科： 3 屬 6 種 2 變種 (2 種)
- ステイゴネマ科： 1 屬 1 種
- ユレモ科： 6 屬 29 種 (5 種)

括弧内は日本新産。

### B 生態學的調査 (6 型に分類した)

- プランクトン型： 2 屬 2 種 1 變種
- 藻体着生型： 8 屬 18 種
- 藻体内生型： 3 屬 3 種
- 岩上着生型
  - 灌水帯型： 1 屬 1 種
  - 上部潮間帯型： 7 屬 7 種 3 變種

下部潮間帯型：9 屬 16 種

漸深帯型：5 屬 6 種 1 變種

貝類穿孔型：2 屬 2 種

岩石穿孔型：1 屬 1 種

尙1種で多型を示すものもある。

貝類穿孔型として次の2種が見られた。

プレウロカプサ科：*Hyella caespitosa* BORN. et FLAH.

スティゴネマ科：*Mastigocoleus testarum* LAGERH.

生育層を垂直分布よりみて最上部に生育するものは、岩上着生型（灌水帯型）で次の1種は顯著である。

ヒゲモ科：*Calothrix scopulorum* (W. et M.) AG.

### C アコヤガイ上に見られた藍藻類（御座眞珠養殖場より）

クロオコックス科：*Aphanocapsa littoralis* HANSG.

var. *macrococca* HANSG.

ユレモ科：*Spirulina subsalsa* OERST.

*Oscillatoria laetevirens* CROUAN

*Osc. nigro-viridis* THWAITES

*Lyngbya aestuarii* LIEBM.

*Hydrocoleum glutinosum* (AG.) GOM.

*Hyd. cantharidosmum* (MONT.) GOM.

尙アコヤガイ上には、今回の調査では貝類穿孔型藍藻類が採集されなかつた。

## 文 献

- 稻垣貫一 (1950)：植研雑，25 (1-2)，20-26.  
 ——— (1950)：日學振會編，自然と人文，2，76-88.  
 SEGI, T. (1944)：Bot. Mag. 58 (686)，33-37.  
 瀨木紀男 (1948)：植研雑，22，(7-9)，97-99.  
 ——— (1951)：三重縣生調委會編，三重縣產生物目錄，海藻，340-352.  
 高嶺昇，山田幸男 (1950)：植雑，63 (750)，265-269.